

第13回 李秉昌博士記念公開講座
「耀州窯青磁と高麗」



日時

2020年3月14日(土)

10時(受付開始)～16時40分

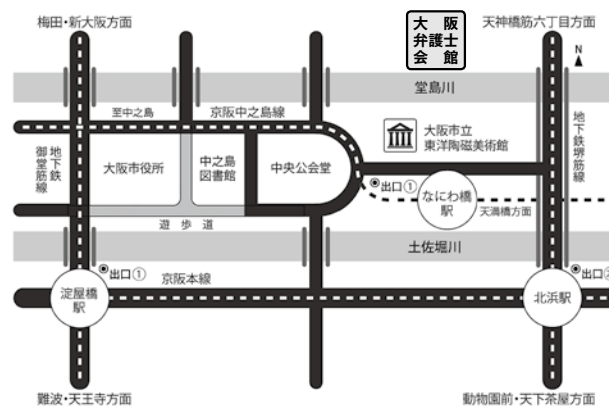
会場

大阪弁護士会館 2階会議室
(大阪市北区西天満1-12-5)

講座内容

高麗青磁は10世紀半ばに中国・越窯の技術をもとに生まれたといわれ、その後も中国陶磁から影響を受けながら独自の発展を遂げました。なかでも早くから密接な関連が指摘されているのが耀州窯青磁です。宋代耀州窯の前身は唐・五代の黄堡窯であり、五代には宮廷用をはじめとする天青色系の美しい釉色の高級製品が生産されていました。一方、オリーブグリーンの宋代耀州窯青磁は、そこに施された刻花や印花による多彩な文様が高麗青磁と関連しているだけでなく、王陵をはじめとする高麗時代の遺跡からは耀州窯青磁も出土しています。

今回、韓国や中国などから第一線の研究者をお招きし、耀州窯青磁と高麗青磁をめぐる最新の研究成果をご紹介します。なお、本講座は、在日韓国人である故李秉昌(イ・ビョンチャン)博士による韓国陶磁研究のための寄付によって開催するものです。李秉昌博士のご厚志に対し、心からの敬意と感謝の意を捧げます。



京阪・中之島線「なにわ橋」駅より徒歩約5分、
地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」「北浜駅」より徒歩約7分、
JR東西線「北新地」駅より徒歩約15分

スケジュール

- 10:00～ 受付開始
※準備の都合により、10時以前には会場へお入り頂けません
- 10:25～10:30 開会
- 10:30～10:45 「五代耀州窯について(仮題)」
出川哲朗(大阪市立東洋陶磁美術館・館長)
- 10:45～11:45 特別講演
「北宋『营造法式』と高麗青瓷、耀州窯青瓷の覚書(仮題)」
謝明良氏(国立台湾大学芸術史研究所・特聘教授)
- 11:45～13:00 休憩
- 13:00～14:00 特別講演
「耀州窯天青釉瓷研究に関する若干の問題」
嵯振西氏(陝西省考古研究院・研究員)
- 14:00～14:10 休憩
- 14:10～15:10 「韓国出土の耀州窯系青磁の様相と性格」
韓惠先氏(梨花女子大学校韓国文化研究院・研究教授)
- 15:10～15:20 休憩
- 15:20～16:20 「宋金時代の耀州窯瓷器にみられる刻印花人物装飾文様についての考察」
杜文氏(陝西省文物保護研究院・副研究館員)
- 16:20～16:40 総括・質疑応答
- 16:40 閉会

定員：150名(先着順)

※聴講無料、2階会議室に直接お越し下さい

問合せ：大阪市立東洋陶磁美術館・学芸課
電話：06-6223-0055

主催：大阪市立東洋陶磁美術館、地方独立行政法人 大阪市博物館機構
後援：駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院、東洋陶磁学会

表紙図版：重要文化財 青磁刻花 牡丹唐草文 瓶
北宋時代・11-12世紀 耀州窯 住友グループ寄贈(安宅コレクション)